

令和2年度第2回日進市地域公共交通会議専門部会 議事録

日 時 令和2年9月14日(月) 午前9時30分から11時30分  
 場 所 日進市役所4階 第3会議室  
 出席者 横江孝順(委員)、新見春子(委員)、浅井和貴(委員)、寺田裕美(委員)  
 欠席者 川口洋子(委員)  
 事務局 生活安全部 防災交通課 課長 小濱光育  
 防災交通課移動政策室 室長 浅野慎一  
 防災交通課移動政策室 モビリティマネジメント係  
 小池係長、上田主事、鈴木主事

傍聴の可否 可

傍聴の有無 あり(5名)

1. 部会長選任
2. 運行ダイヤの検証について
3. その他

発言者	内 容 ( 要 旨 )
事務局	それでは定刻となりましたので、第2回地域公共交通会議専門部会を開催します。はじめに、部会長の選任について、皆様をお願いをいたします。前回の会議で、横江委員に推薦があったため、横江委員に部会長をお願いできればと思います。よろしいでしょうか。
委員	異議なし(委員全員承認)
部会長	おはようございます、今回このような重責ある、責任ある部会長という役割ということで恐縮しておりますが、私は公募市民として、あくまで市民目線でこれから討議する市民の意見、要望を部分修正で、いかに要望に対応した形を確立していくか今後話を進めていきたいと思っております。市民の方も、この会議をかなり注目しておられ、聞いていらっしゃる方もみえますので、我々の重責もかなり大きいと思っております。皆様のご協力において、何とかやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
事務局	部会長ありがとうございました。続きまして、会議の公開ということについてですが、原則公開となっておりますので今回の会議についても公開とさせていただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。
委員	異議なし
事務局	ありがとうございます、では公開とさせていただきます。 (会議公開・傍聴5名入室)
事務局	議事に入る前に、事務局より一点ご提案申し上げます。専門部会の運営について必要があると認めるときは、委員以外の者から意見または資料を求めることができる規定があります。本日、くるりんばすの運行をしていただいております、名鉄バス

発 言 者	内 容 ( 要 旨 )
	<p>株式会社の方にお越し頂いております。必要に応じて、オブザーバーとして、ご意見やご見解についてお伺いしたいと考えております。これにつきまして、委員の皆様のご同意をいただきたいと思います。</p>
部 会 長	<p>名鉄バス株式会社の方へ出席いただいてもよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
部 会 長	<p>名鉄バス株式会社の方、よろしくお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございます。それでは、名鉄バス株式会社のお二方に会議にご参加いただきたいと存じます。ひとこと、ご挨拶をお願いいたします。</p>
オブザーバー	<p>名鉄バス株式会社です。日頃から、弊社路線バスをご利用いただくだけでなく、日進市さんからくるりんばすの運行について委託をいただいております。日頃から安全運行を第一に、バスの運行をさせていただきます。今回の部会につきましても、くるりんばすのさらなる改編ということで我々も今までの経験や現状認識等を含めまして、様々なご提案をさせていただきながら、市民にとってもより良い路線が運行できるようにご協力させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございます。では、議事に移りたいと思っております。</p>
部 会 長	<p>では、次第に沿って議事を進行させていただきます。次第の3. 運行ダイヤ検証について事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>3. 運行ダイヤの検証について (資料に基づき説明、資料1、資料2、資料2-1、2-2、2-3)</p>
部 会 長	<p>事務局の検証、説明ありがとうございました。 私も公募市民の一人として、ご意見を申し上げます。様々な市民からのご意見というのは寄せられております。その中で、運行にあたり、運転手の拘束時間等の労務管理があるということ、などの制約を頭に入れてやっていく必要がありますね。これらを踏まえて、委員の方々のご意見を聞きたいと思っております。時間や運行管理、運転手さんの労務管理などについては決められておりますが、これを考慮する必要があります。委員の方、今回の事務局の説明を受けて、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>どのような方法が一番解決に近づくのか、いろいろ考えてみました。 現段階では、市役所で市民アンケートなどの様々な調査が行われたことや、運転手さんの労務管理などを加味した上で、市がダイヤを検証していただきました。ただ、岩崎線の利用状況が私もよくわかっていないというところがありますが、岩崎台から福祉会館を利用される方もいらっしゃるということで、岩崎台から香久山・福祉会館へのルートを検討していただいていることについてはとてもありがたいことではないかと思っております。 ただ、3便だけだと少ないのではないかと、もう少し多いほうが良いのかな、3便で朝でかけて、帰ってこれるかなということも少し思います。あと、全便11便を乗り入れた場合は大変になってしまうので、11便は運行しないほうが良いと思っております。ただ、現在もご利用されている市民もいますので、減便についても検討が必要と思いま</p>

発 言 者	内 容 ( 要 旨 )
	<p>す。あと、部分修正の中で、赤い字で書かれているバス停については新設されるバス停ということでよろしいでしょうか。</p> <p>最終的には、全体を考えると、運転手さんの不便がなく、このルートを行っていたらいいということが一番皆さんにとっては良いのではないかと思います。</p>
事 務 局	<p>赤字で示した新規のバス停については、ある程度前回の部会で意見をいただきました、利便の向上を図るために設置できる範囲内、時間が許す限り織り込みをさせていただいたものになります。現時点では検討するにあたって、市としても設置を進めるべきだと考えられるものについて反映しております。ただ、他の路線修正で時間がかかってしまう部分が出てくるなど、設置については再検討する可能性もあります。</p> <p>このバス停の新設につきましては、岩崎台・香久山福祉会館への乗り入れと関連します。新設バス停の可否については、今後も良く検討していく必要があります。</p> <p>今後、このダイヤ検討については精度を上げていきたいと思っておりますが、検討する中で難しいといったことも出てくる可能性もございます。ただ、現段階で可能だと思われるところについてバス停新設も含めて考えており、岩崎線について、3便は乗り入れできるのではないかと検証結果になっております。</p>
部 会 長	<p>このくるりんばす7路線に関して、ほかに、委員の方のご意見はございますか。</p>
委 員	<p>地元の懇談会に呼んでいただいて、岩崎線を香久山地区に振るということについて、過去より地元市民より要望が出ておりそのままになっていきましたが、この度反映されようとしていることについて、ありがたく思っています。ただ、修正も、一回回ると10分かかってしまうなど、大変難しい部分もあるということが分かります。削れる部分を削って、工夫はしていただいたのだと思います。地元の方は「無視されてしまった」と感じている部分もありますので、そうではなくてきちんと考えてもらっているということを地元の方には伝えていきたいと思っております。</p> <p>具体的にこちらの話を考えると、全便乗り入れについては労務管理上の問題から難しいと。一方で、10便までで切ってしまうということを見ると、現在も少ないですが、11便にご乗車されている方もお見えなので11便をなくすのは少々乱暴ではないかと思います。そうすると案でしめされている3便乗り入れが現実的だと思いますが、福祉会館を利用されている方からするとお昼の便がなく、朝用事を済ませてからお昼に家に帰ることができないので、この案はいかがなものかと思っております。どこまで譲歩すべきなのか、ということを考えます。</p> <p>また、たくさんお話を聞く部分としましては、東の路線の利用率が改編前にくらべて半分以下になっており、とっても困っていらっしゃいます。米野木、三本木の方が日進駅に行けない、米野木駅に行っても帰って来られないことについては、今回の部分修正で解消されるのでしょうか。岩崎台・香久山福祉会館の問題とは別として、こちらの東地区の問題について解決する策はあるのでしょうか。</p> <p>もう一点、別のことを申し上げると、スポーツセンターに循環線が行かないことについては障害者をお持ちの方、例えば視覚障害をお持ちの方が日進市役所から歩いて</p>

発 言 者	内 容 ( 要 旨 )
	<p>スポーツセンターに歩いて向かわれるというのは、大変だと思います。この点について、事務局として考えていただいていることについては良いと思います。</p>
部 会 長	<p>おっしゃる通りだと思います。一公募市民として、ご意見を申し上げます。</p> <p>循環線はコースが短いので、もう少し距離をのばしたらいかがでしょうか。時間の制約もありますので、難しいのかもしれませんが。</p> <p>例えば、スポーツセンターへの乗り入れについてもですし、赤池駅の混雑状況の解消も視野に入れて、梅森線の赤池駅北バス停を移設し、赤池駅への乗り入れ等ができないかと、市民目線で考えると改善できる問題ではないかと思います。また、朝は通勤通学に向けた増便ダイヤ、昼は買い物通院に利用するといったようなダイヤを作るなど、メリハリをつけることも今後考えていくことも必要だと思います。事務局としてはいかがお考えでしょうか。</p>
事 務 局	<p>課題としては認識しておりますが、部分修正でできる範囲ではないと思っておりますので、こちらに関しては全線見直しの際に検討する課題とさせていただきますと思います。今回に関しては部分修正に関する部会ですので、令和3年度中にお応えできる要望に関してお応えしたいと思います。</p>
部 会 長	<p>もう一つ聞きしたいこととして、今年度の計画として、バスの増車は考えていますか。</p>
事 務 局	<p>今年度に関しては、赤池線と循環線のバスの車両買い替えは実施していきますが、バスの増車については予定しておりません。</p>
部 会 長	<p>令和3年までは、部分修正案をいかに確立していくかということですね。この部会について、市民の方がかなり注目をしている会になります。ですから、この部会でいかに検討を実施したか、しっかり議論をしたのかということについて証を残す必要があると思います。市民からの要望はたくさんありますので、組織の中でいかに部分修正案をしっかりと確立していくのかということが大切だと思います。</p> <p>ほかに、各路線について何かご意見はありませんでしょうか。</p>
委 員	<p>くるりんばすは時間がかかるとのことですので、岩崎から日進駅へ通勤の方が早く行けるようにしていただければ良いと思います。宜しくお願いします。</p>
事 務 局	<p>ご意見は部分改正の中では難しいと考えており、全線改編の中で皆様のご意見を良くお聞きして検討していきたいと考えています。</p>
委 員	<p>市民の皆様が全便を福社会館へ乗り入れた方が良いとのことでしたら、例えば11便については、現状利用が全くないバス停を通過することで時間の調整ができないでしょうか。また、岩崎線のコースで北部保育園、障害者福祉センター、相山学園大学の各バス停が近いので、これを1つにすることで時間短縮ができるのではないのでしょうか。</p>
部 会 長	<p>ありがとうございます。先ほどのお話で言いますと、図書館と福祉センターもバス停が近いので、そういったことを含めて各路線についても見直しを検討したほうが良いのではないのでしょうか。また、くるりんばす7路線については一定の制約の中で</p>

発 言 者	内 容 ( 要 旨 )
	<p>見直しを行う必要がございます。各路線ごとに方向性をもって再編等に取り組めればと思います。我々について、直近の令和3年の部分修正で可能な限り市民の要望にお応えすべく、部分修正案を確立する使命があると思っております。</p> <p>では、他にありますでしょうか。今回、オブザーバーとして参加していただいております、名鉄バス様、何かありますでしょうか。</p>
オブザーバー	<p>オブザーバーとして参加させていただきます。</p> <p>一つ補足として発言させていただきたいと思います。様々な制約の中で、というお話がございました。我々のバスの乗務員の管理ということにつきまして、労務管理上の問題ということで、特に夜の時間帯ですね。勤務時間的には、20時45分で終了する形でなければどういったことになるか、ということですが、労務管理上乘務員の食事時間の確保等しなければなりません。この時間を設けますと、これに伴って勤務時間も長くなります。そうしますと、乗務員の増員やくるりんばすの運行管理の経費も増加するという問題が発生します。こういったこともありますので、20時25分に市役所で運行を終了することがくるりんばすの限界値であるということをご理解いただければと思います。</p> <p>また、便と便の間の休息时间に関しましても、道路状況や時間帯によって必ずしも休憩時間が確保できない、条件をクリアできないことも多々ございます。この時間は10分以上必要であるという制約条件があるのですが、10分ぴったりですと、休憩時間を確保できなくなる、10分を満たさない状況であれば休憩時間としてみなすことができなくなってしまいます。細かいことを申しますと、4時間の中で必ず30分休憩時間を設けなさい、ただし、10分ごと分割でも構いませんということが労働基準で定められておりますが、10分を切ってしまいますとこの基準を満たすことが出来なくなってしまいます。これをクリアできなくなりますと、国や運輸支局から基準順守していないということで、改善基準違反として、最悪の場合、車両の使用停止処分などを受けることとなります。我々運行事業者の責任を問われることになりかねませんので、これらの労働基準については必ず守る必要があります。仮に、このようなことが現実が発生した場合には、我々事業者としての立場もありますが、日進市様のくるりんばすの運行が出来なくなることに発展していきますので、そうならないように厳密に確実な運行計画を立てて運行を実施する必要があるとございます。今回のこの場においても、制約という言葉で位置付けられてしまっておりますが、これは制約ではなく最低条件といったことをご理解いただければと思います。</p> <p>運行事業者としての立場もございますが、くるりんばすを確実に運行していく必要があるということからも、ご理解いただきますよう、よろしくお願いたします。</p>
部 会 長	<p>名鉄バスさんからのお話にありましたが、やはり運転手さんの労務管理上のこともあるとのことでした。現在、運送業については全国的にドライバー不足と聞いていますが、名鉄バスさんについても同様の問題を抱えておりますか。</p>
オブザーバー	<p>ドライバー不足というものは慢性的に発生しております。これについては、今後も</p>

発 言 者	内 容 ( 要 旨 )
	<p>継続して課題解決に当たらなければなりませんので、現在も積極的にドライバーを採用をしていくなど、努力を続けております。</p>
部 会 長	<p>他にご意見はありませんか。なければ(4)その他の説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(4) その他 資料に基づき説明</p>
部 会 長	<p>ありがとうございました。では、事務局からご提案ありましたが、次回開催日は28日に決定してよろしいでしょうか。</p> <p>では、次回開催は9月28日の午前9時30分から実施と致します。よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、何かご意見ある方いらっしゃいますか。</p>
委 員	<p>今後の部会につきまして、岩崎線が岩崎台・香久山福祉会館に乗入れなければ他の地区の利便性が向上するという選択肢があるのでしょうか。というのも、今回、他に優先して岩崎線の問題を解決したということであれば、その理由について他地区の方々に説明ができるようにしなければならないと思うのです。私たち委員では、そこまでの分析はできませんので、お答えできるように準備をしていただければと思います。</p>
事 務 局	<p>東地区の人たちが日進駅に行けない、もしくは、行っても帰ってこれないという問題のことで良かったですかね。今回の部分修正については、岩崎線の岩崎台・香久山福祉会館乗り入れを実施する、しないに関わらず、米野木線が市役所発着になるので、乗り継ぎがより便利になると思いますが、それ以上の改善は難しいです。課題としては認識しておりますが、こちらについては全線再編で検討させていただきたいと思えます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。</p>
部 会 長	<p>この問題は部分修正では難しいということですね。ですので、全線再編で検討ということでもよろしいですかね。我々も、市民からの意見に対応できなくて四苦八苦しておるのですが、よりよいものを作っていけるように努力をしていきましょう。</p> <p>では、他にご意見等ありませんか。では、事務局にお返しいたします。</p>
事 務 局	<p>委員の皆様におかれましては、いろいろご議論頂きありがとうございました。</p> <p>次回は9月28日の9時30分から開催いたします。次回は部分修正の素案としてまとめることが必要となりますので、次回はとりまとめたものをお示しさせていただきたいと思えますので宜しくお願いします。</p> <p>それでは第2回日進市地域公共交通会議専門部会を終了いたします。</p>
	<p>午前11時30分 終了</p>